

会 議 録

会議名	第38回松本市地域公共交通会議及び第22回松本市地域公共交通協議会		
日 時	令和3年2月26日（金） 午前11時～正午		
場 所	松本市勤労者福祉センター 2-1会議室		
次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 会議事項 (1) 松本市地域公共交通会議 ア 第1号議案 浅間・大村線のダイヤ変更について イ 第2号議案 浅間・大村線の停留所設置及び運行ルートの変更について (2) 松本市地域公共交通協議会 松本地域公共交通計画（素案）について 4 その他 5 閉 会		
出席者 (敬称略)	【会 長】	高 瀬 達 夫	(信州大学工学部) (リモート出席)
	【副会長】	内 山 博 行	(松本市町会連合会)
	【委 員】	中 嶋 政 幸	(国土交通省関東地方整備局長野国道事務所) (代理：堀内 哲夫)
		佐々木 凜太郎	(国道交通省北陸信越運輸局交通企画課)
		芦 澤 千恵子	(国土交通省北陸信越運輸局長野運輸支局)
		小 林 伸 行	(長野県企画振興部交通政策課) (代理：唐澤 哲男) (リモート出席)
		兵 藤 裕 一	(長野県松本地域振興局企画振興課) (代理：市村 孔明) (リモート出席)
		丸 山 泰 正	(長野県松本建設事務所維持管理課) (代理：泉 直軌)
		蓑 部 孝 志	(長野県松本警察署交通第二課) (代理：根津 和久)
		赤 廣 三 郎	(松本商工会議所)
		園 田 弘 世	(東日本旅客鉄道株式会社長野支社) (代理：篠原 一弘 (リモート出席))
		二 條 宏 昭	(アルピコ交通株式会社)
		古 田 龍 治	(松本地区タクシー協議会)
		大 内 清 彦	(アルピコ労働組合松本電気鉄道支部)
		櫻 井 和 人	(松本地区ハイタク労働組合会議)
		草 深 邦 子	(松本市民生委員・児童委員協議会)
		百 瀬 仁 志	(中信地区高等学校長会) (リモート出席)
		土 田 淳 一	(西部地域代表)
		丸 山 則 行	(四賀地域代表)
		藤 沢 洋 史	(山形村) (同行：山本 瑞季)
		上 條 晴 彦	(朝日村)
		(欠席者4名)	
	【委託業者】	特定非営利活動法人 SCOP	

	【事務局】 松本市 建設部 公共交通・渋滞対策課
資 料	1 次第 2 「浅間・大村線」のダイヤ変更、停留所の設置及び運行ルートの変更について 3 松本市地域公共交通計画（素案） 4 松本地域公共交通計画の概要（当日追加資料）

- 1 松本市地域公共交通会議
浅間・大村線のダイヤ変更、停留所の設置及び運行ルートの変更について
 - 事務局：資料に基づき説明
質問、意見がなく承認

- 2 松本市地域公共交通協議会
松本地域公共交通計画（素案）について
 - SCOP：資料に基づき説明
 - 委員：ゼロカーボンシティに関する目標値の設定について、松本市が施策を行って達成できるものとは違うと思う。目標値が適切なのか。中心市街地の賑わいの目標値は具体的にどこの通りの数値なのか。移動の転換の目標値の交通分担率について、近場の移動が自動車に転換して行って、歩行者、自転車が減っている。近場の移動をどのように転換させるかによって、達成状況が変わってくる。元々の目標値との整合性が分からない。
 - 事務局：移動を公共交通に集約する観点から、運輸部門の中でも自動車と軽自動車のCO2排出量数値使用していく。
中心市街地の賑わいの目標値については、松本商工会議所と松本商店街連盟で実施している歩行者通行量調査から、大名町通り、本町通り、中町通り等を往来した歩行者数としている。
 - SCOP：交通分担率については、上位計画の総合交通戦略との整合性も含めて検討していきたい。
 - 委員：目標値が交通計画を達成すれば、達成される目標というよりは他の影響によって変わってくる目標値だと思う。もう少しこの計画の主旨に合った目標値の方が良いと思う。
 - 委員：委員の皆さんに対し、少しでも疑問に思う点、分からないことがあれば聞いておいた方が良いと思う。
公設民営について、双方でwin-winの関係とあえて書く必要はないのではないか。抽象的な書き方ではなく、ミニмумラインを保証しつつ、運行事業者の創意工夫により生産性の向上等を図った場合にインセンティブができる設計にする、というような事を書いた方が良いと思う。
 - 議長：他の委員の皆さんで、この場で不明な点等が出せなければ、次回開催までの間に事務局まで意見を寄せてください。

出された意見等について、反映したものを次回協議会時に示す